

# 技術・家庭科の学習方法

## 技術・家庭科の目標

「生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。」

## 技術分野の目標

「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。」

- A:材料と加工の技術…身の回りの製品はどのような材料で、どのように設計され、つくられているか考えてみましょう。
- B:生物育成の技術……生活を支える生物や作物がどのように生産・管理されているのか考えていきましょう。
- C:エネルギー変換の技術…エネルギーはどうやって生み出されるのか、最適な扱い方について考えていきましょう。
- D:情報の技術……日頃当たり前扱う情報の基本や、これからの社会における扱い方を考えてみましょう。

授業では、基礎的な知識を学び、身近な生活の課題についてみんなで考え、実験や実習によってそれを確かめたり、実践したりします。そして、身につけた力を実際の生活の中で生かしていくことが大切です。○課題に意欲的に取り組もう ○自分の考えを持って、積極的に発表しよう ○仲間の発表に耳を傾けよい考え方から学ぼう ○メモをとろう ○疑問に思ったことは、積極的に質問したり、自分で調べてみよう

## 技術分野の学習計画

1 学年	2 学年	3 学年
<通年> 4月～3月	<通年> 4月～3月	<通年> 4月～3月
<p>○ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術ではどんな学びをするか、3年間を見通して学習する。</li> </ul> <p>○A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ものづくりの工夫と進め方</li> <li>・身の回りにある製品・について</li> <li>・身の回りにある材料について</li> <li>・ものづくりの進め方</li> <li>◆製作品の構想</li> <li>・生活に役立つものの構想</li> <li>・構想図の書き方</li> <li>・設計、仕様の検討、製作図</li> <li>◆製作</li> <li>・材料選択、材料表、切断</li> <li>・組み立て、仕上げ</li> <li>・自己評価、他者評価、反省</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・材料と加工の技術の適切な評価と今後の利用について</li> </ul> <p>○B生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活と関わる生物育成</li> <li>・生物育成とは</li> <li>・生物育成のサイクル</li> <li>◆作物の栽培</li> <li>・栽培ごよみ、環境要因</li> <li>・栽培に関する基礎知識</li> <li>・栽培計画の作成</li> <li>・作物の栽培、管理、収穫</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・生物育成の技術の適切な評価と今後の利用について</li> </ul> <p>★夏休みの課題:一人一作品</p>	<p>○Cエネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆身の回りのエネルギー</li> <li>・エネルギー変換、変換効率</li> <li>・エネルギー資源の利用</li> <li>・電気エネルギーの利用</li> <li>・電気エネルギーと安全</li> <li>◆動力伝達の仕組み</li> <li>・動力伝達の基本的なしくみ</li> <li>・運動エネルギーへの変換と利用</li> <li>・回転運動を伝える仕組み</li> <li>・機械が動く仕組み</li> <li>・エネルギー変換の技術を用いた製品の設計、製作、工夫、改良</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・エネルギー変換の技術の最適化</li> <li>・これからのエネルギー変換の技術</li> </ul> <p>○D情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報とわたしたちの生活</li> <li>・情報の技術とは</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組み</li> <li>・情報のデジタル化</li> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・安全に利用するための情報モラル</li> <li>・双方向性のあるコンテンツとは</li> <li>・コンテンツのプログラミングの制作</li> <li>・課題解決の評価、改善、修正</li> </ul> <p>★夏休みの課題:一人一作品</p>	<p>○D情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆プログラムによる計測・制御</li> <li>・生活の中にある計測・制御</li> <li>・計測・制御システムとは</li> <li>・問題の発見、課題の設定</li> <li>・計測・制御システムの構想</li> <li>・計測・制御システムのプログラム制作</li> <li>・問題解決の評価、改善・修正</li> <li>・情報の技術の最適化</li> <li>・これからの情報の技術</li> </ul> <p>○技術分野の学習を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsと技術のかかわり</li> <li>・学んだことを社会に活かす</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>1・2年生は夏休みの宿題で「発明創意くふう展」へ出品を出します。日頃から様々な技術に目を向けて生活していきましょう。※3年は有志</p> </div>

## 技術分野の評価方法

評価する内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
評価の内容	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活の工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・発言</li> <li>・授業の準備</li> <li>・提出物</li> <li>・実習、作品</li> <li>・実習記録、自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・課題</li> <li>・実技</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・課題</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技、発表</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> </ul>

## 技術分野の学習の仕方

技術分野は、日常の生活を豊かにするための学習です。ただ、知識を暗記するのではなく、自分で課題を発見し、身体も使って実践してみたり、人とかがわりながら学び、それを生活に生かしていきましょう。

「課題をもって、生活を豊かに創造していく力を身につけるために」

### 生活をみつめ問題をみつめよう

・知りたい・工夫したい・やってみたい・なぜだろう・どうしたらよいだろう

### 行動しながら調べてみよう(フィールドワークをしよう)

・話を聞く・訪問して調べる・教科書や本なども調べよう  
・図書館、新聞、インターネットなども利用しよう

### やってみよう・つくってみよう

・計画を立て、用具、材料を用意して実行する

### 考えをまとめて発表しよう(交流し合おう)

・友人と交流する・自分の考えを形にする・教室以外の場所(新聞など)で発表する  
・調べたことや実行したことを、伝えたり、発表する

### 生活をみつめ問題をみつめ、解決しよう

・学習したことを生かして、課題を発見し、解決を目指す

## <技術で>

技術の授業は1, 2年生のとき、2 時間続きで授業を行う時もあります。毎回の出席を目指しましょう。安全第一で積極的に授業に参加し、実践を通して、得たもので日々の生活も豊かにしていきましょう。

## <授業の用意>

○教科書 ○ファイル ○技・家ノート 3点セットは3年間使用します。  
○筆記用具 ○メモリがはっきりした定規

## <服装>

○木工室・金工室 → ジャージ ○教室・PCルーム → ジャージ